



もてなしの心で語る わが街

# えな自慢

えな自慢  
えな水 87

## ささゆりの湯

年間10万人が訪れる名湯



▲展望露天風呂からの景色は格別

### ひと口メモ

ささゆりの湯の前にある農産物直売所「マレットハウスいっぷく」では、2002(平成14)年に直売所の目玉商品として考案された「トマト大福」が温泉客のお土産として人気を集めている。

申原に2002(平成14)年7月にオープンした温泉。2009(平成21)年には入場者数100万人を達成し、年間10万人を超える温泉ファンに利用されている。施設は、標高464mの山頂にあり、展望露天風呂から眺める山々の景色は格別。泉質はアルカリ単純泉、刺激が少なく万人に適している。大浴場や泡風呂、ジェットバス、サウナ、展望露天風呂などの他、郷土の食材を生かした食事も魅力となっている。また温泉の周辺には、農産物直売所やマレットゴルフ場などもある。

温泉の年始は1月2日(水)から通常営業。



▲施設にはレストランや売店もある

えな自慢  
88  
えな人

## 林述斎

昌平坂学問所の総長



▲文書行政の中核として幕政に関与

### ひと口メモ

述斎が養子となった林家は林羅山を祖とする儒学者・朱子学者の家系。佐藤一斎の父が述斎の烏帽子(元服する男子に烏帽子名をつける人)であったことから、4歳年下の一斎とは親交があり、儒学を共に学んだ。

述斎は岩村藩出身の儒学者で、佐藤一斎の師、幕府昌平坂学問所の総長。1768(明和5)年、岩村藩主松平乗蒞の三男として出生。儒学者の渋井太室らに師事。1793(寛政5)年、林信敬の養子となって林家を継ぎ、幕府の文書行政の中核として幕政に関与する。寛政の三博士と呼ばれる柴野栗山・古賀精里・尾藤二洲らと儒学の教学の刷新にも力を尽くし、昌平坂学問所の幕府直轄化を推進した(寛政の改革)。また朱子学を基礎としつつ、中国清朝の考証学に関心を示し、「寛政重修諸家譜」「徳川実紀」「新編武蔵風土記稿」など幕府の編さん事業を主導した。和漢の詩才に優れ、歌集「家園漫吟」などがある。1841(天保12)年8月30日、73歳で没。



▲述斎から岩村藩主松平乗保に送った礼状の一部(岩村歴史資料館蔵)

次号は1月15日号  
発行日は1月15日(火)です

広報えな No.188  
2013年(平成25年)  
1月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係  
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1  
☎(0573)26-2111/☎25-6150/(IP電話)050-5808-9521  
http://www.city.ena.lg.jp/ ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』1月1日号、1部当たりの印刷経費は約14.5円(税込み)です。



◀市メール配信サービス(登録用QRコード)

市WEB版文字放送システム(閲覧用QRコード)

□問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。



この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。